

建築生産系国際ワークショップ(マレーシアワークショップB)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年03月02日 ～2025年03月12日	マレーシア	トウク・アブドゥル・ラーマン 大学	建築学科、 建築学専攻、 地域環境システム専攻 学部2～4年生、 修士1～2年生、 博士1～3年生	(芝浦工業大学) 学生15名、 学生バイト2名、 教員2名 (トウク・アブドゥル・ラーマン 大学) 学生34名、 教員1名	志手 一哉(建築学科) 蟹澤 宏剛(建築学科)



集合写真

マレーシア:トウク・アブドゥル・ラーマン大学(UTAR)のキャンパスにて、UTARのエンジニアリング&グリーンテクノロジー学部コンストラクションマネジメント学科と本学の建築学部および建築学専攻等の学生が共同で、現地の建物をBIMソフトを用いて改修計画を立案するワークショップを実施した。モデリングの対象とした建物は、UTARキャンパス内の「工学実験工房」である。学生はSITとUTARの混成で5チームに分かれ、各々のチームがサステナブルな建物に増改築する提案を検討し、BIMデータでプレゼンテーションをした。ワークショップでは、一般図で読み取れない部分について対象建物を実測し、CDE(Common Data Environment)を用いた共同作業でモデルをつくり上げた。成果発表では精緻な動画を用いたプレゼンテーションが多く、建築技術者におけるデジタル技術の素養を高めあうことができた。



対象建物の視察



ワークショップの様子1



ワークショップの様子2



企業講演の様子



発表の様子



建物視察